

【参考資料】

札幌開発建設部における 「地域重点プロジェクト」の推進状況について

北海道開発局札幌開発建設部

令和6年6月26日

施策1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

(1) 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

○広域分散型の国土づくりを先導する交通ネットワークの整備

道央都市圏と農村地域など生産空間や各地域の中心都市とのアクセス強化を図り、「人流・物流の拡大」や「地域・拠点間の連携」を推進するため、「道央圏連絡道路(長沼南幌道路、中樹林道路)」をはじめ、「国道5号 創成川通」、「国道275号 江別北道路」などの事業を推進します。



【国道275号 江別北道路(江別市)】
(令和5年8月8日に通行方法を変更)



【道央圏連絡道路 中樹林道路(江別市、南幌町)】
(令和6年度の開通に向け、事業を推進)

【今年度の実施(完了)状況】

- 令和3年4月に、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」にて、「国道275号 江別北道路(令和5年度)」、「道央圏連絡道路 国道337号 中樹林道路(令和6年度)」等の開通見通しを公表。
- 令和5年8月8日に、「一般国道275号江別北道路」の通行方法を変更(全線4車線開通)。
- 中樹林道路は、令和6年度の開通に向けて、事業を推進。

施策 1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

（1）北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

○道の駅の交通・防災・生活の拠点化

観光の加速化や防災拠点機能の強化、子育て応援施設や大学との連携など、あらゆる世代が活躍する地域の拠点機能の強化し、官民の力を合わせて更なる地方創生を推進します。

【防災】



災害時における防災備蓄倉庫の整備
(北欧の風道の駅とうべつ)



防災機能向上訓練
(たきかわ)

【道の駅の基本コンセプト】



【子育て応援】



妊婦向け屋根付駐車場
(石狩「あいロード厚田」)



24時間利用可能なベビーコーナー
(ハウスヤルビ奈井江)

【インバウンド】



24時間トイレ案内
(スタープラザ芦別)
JNTOパートナー施設



総合案内所
(ライスランドふかがわ)
JNTOカテゴリ1施設

【今年度の実施（完了）状況】

- 令和5年9月に、道の駅たきかわで防災機能向上を目的とした訓練を実施。
- 引き続き、自治体や「道の駅」管理者と道の駅に求められる防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応に向けた意見交換を行う。

施策 1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

(2) 北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の交流・連携等の促進

○地域づくり人材の発掘・育成の促進

地域の課題解決・活性化を図り、北海道の「価値創造力」強化に向けて、「北海道価値創造パートナーシップ活動」を展開し、地域づくり人材の広域的・横断的な交流や連携を推進する。



H27～H30
「空知地域づくり活動団体勉強会」
【取り組み内容】
・活動団体の洗い出しを実施
・活動団体の相互理解と協働への下地づくりを実施
【活動成果】
・プラットフォームの形成
・空知シーニックバイウエイ候補ルート登録への寄与

新たな展開に向け

「地域資源の持続的活用に関する検討会」
空知共通の課題を抱える奈井江町で「道の駅」を核とした地域振興策の取組をモデルとして進める
【活動成果】
・地域の課題解決に向け、道の駅の役割や防災機能強化についての議論を実施
・活動団体の取組が評価され、「手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)」を受賞(R2. 12)
・地元企業及び自治体と連携し、「道の駅」の更なる防災機能強化への取組を実施
・道の駅構内に多目的芝生広場を整備(地元企業) など



【今年度の実施（完了）状況】

- 札幌開発建設部地域振興対策室とともに、古写真収集活動のマニュアルを作成し、他の地域への横展開につなげる。
- 地域振興の取組の場で、歴史伝承の活動の成果を発信。
- 道の駅を中心とした地域周遊のサイクリングマップの情報を更新し、道の駅で無料配布。

施策2. 農林水産業・食関連産業の振興

(1) イノベーションによる農林水産業の振興

○食料供給力の強化に向けた農地の整備

地域の農業振興のため、ほ場の大区画化、暗渠排水等の農地の整備、担い手への農地集積による生産コストの低減や高収益作物の作付拡大等により、農業収益力の向上を図ります。

【ほ場の大区画化】



【客土工による土層改良】



【国営農地再編整備事業 美唄茶志内地区(美唄市)】

〔今年度の実施（完了）状況〕

- 国営(緊急)農地再編整備事業6地区(6P参照)において、事業計画に基づき工事を実施。
- 整備済みほ場は、その翌年度から営農が行われているが、ほ場の区画を大きくし、泥炭土壌に起因する泥濘(ぬかるみ)が無くなるなどにより、農業機械による作業の効率化といった効果を発現。

施策2. 農林水産業・食関連産業の振興

(1) イノベーションによる農林水産業の振興

○農業水利施設の戦略的な保全管理

農業水利施設等の計画的な保全・更新として、農業水利施設の整備、用排水施設の再編整備等を実施し、農業用水の安定供給、農地の排水能力向上、深水かんがいへの対応、及び維持管理軽減を図り、水稻を始めとする産地収益力の向上を進めています。

【農業水利施設(用水路)の整備】



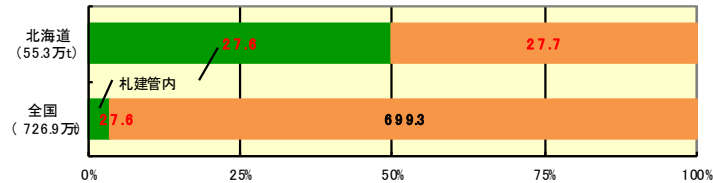
【農業水利施設(排水路)の整備】



農業水利施設等の保全・更新により
産地の収益力を向上



● 水稻生産量のシェア(令和4(2022)年産)



資料:「令和4年産 作物統計」(農林水産省)
「令和4年産 水稻の市町村別収穫量(北海道)」(農林水産省北海道農政事務所)
注:管内収穫量に幌加内町収穫分を含む。

【今年度の実施(完了)状況】

- 国営かんがい排水事業等の9地区(6P参照)で、事業計画に基づき工事を実施。
- 整備済みの農業水利施設では、維持管理軽減の効果が発現。

施策2. 農林水産業・食関連産業の振興

(1) イノベーションによる農林水産業の振興

○農業水利施設の戦略的な保全管理（実施地区）

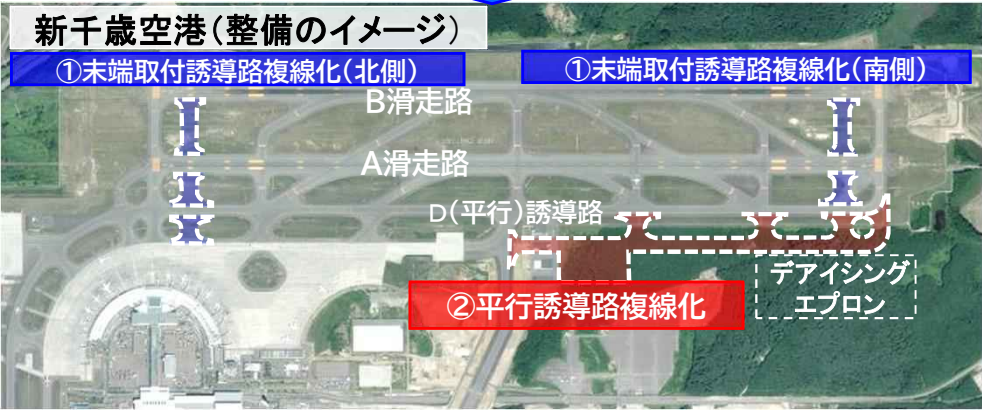
事業種別	地区名	関係市町村名
国営農地再編整備事業	南長沼地区	長沼町
	美唄茶志内地区	美唄市
国営緊急農地再編整備事業	美唄地区	美唄市
	雨竜暑寒地区	雨竜町
	岩見沢北村地区	岩見沢市
	岩見沢大願地区	岩見沢市
事業種別	地区名	関係市町村名
国営かんがい排水事業	北海地区	岩見沢市、美唄市、赤平市、三笠市、砂川市、新篠津村、南幌町、奈井江町
	幌加内地区	幌加内町
	江別南幌地区	江別市、南幌町
	幌向川二期地区	岩見沢市
	神竜二期地区	深川市、秩父別町、旭川市
	篠津運河中流地区	江別市、当別町、新篠津村
国営施設応急対策事業	新雨竜二期地区	雨竜町、新十津川町
	篠津青山地区	当別町
	お茶の水地区	岩見沢市、江別市

施策3. 世界水準の観光地の形成

(1) 国内外旅行者の受入環境整備

○移動・周遊を支える交通ネットワークの整備

新千歳空港では、除雪作業や航空機のトラブル等による滑走路の一時占有に起因する遅延や欠航が課題となっています。このため、誘導路複線化事業を実施し、冬期の航空機の安定運航を図るなど、国内外旅行者の受入環境整備に取り組めます。



【末端取付誘導路複線化 施工状況】

[今年度の実施(完了)状況]

- 誘導路複線化等の整備に向け、今年度予定していた工事、調査設計は概ね完了。
- 引き続き、早期整備に向け事業進捗を図る。

施策3. 世界水準の観光地の形成

(2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

○ドライブ観光の推進

コロナ禍における、道内や国内の観光需要の早期回復に向け、国内に類を見ない雄大な自然等を生かしたドライブ観光を推進するとともに、地方部への周遊を促進するため、道の駅整備に加え、観光地案内やエゾシカ衝突マップの配布などの道路情報提供の充実等に取り組みます。

【利用環境向上に向けた道の駅整備】

【「エゾシカ衝突注意マップ」の作成】



【今年度の実施（完了）状況】

- 令和5年度はエゾシカ衝突注意マップを作成し、ドライブ観光を推進。
- 引き続き、自治体や「道の駅」管理者と道の駅に求められる防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応に向けた意見交換を行う。

施策3. 世界水準の観光地の形成

(2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

○「シーニックバイウェイ北海道」の推進

地域資源を最大限に活用した美しい景観づくり・活力ある地域づくり・魅力ある観光空間づくりを目指し、「支笏洞爺ニセコルート」「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」「空知シーニックバイウェイ体感未来道-」(候補ルート)の活動団体と協働した取組を推進します。

また、「世界水準」の観光地形成に向け、地域の活動団体がお薦めする魅力ある景観を有する道路を選定し、景観の維持・形成や誘客に向けた広報等を重点的に実施する、シーニックバイウェイ「秀逸な道」を令和3年度から本格的に展開しています。

「秀逸な道」

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
(国道230号札幌市南区定山溪国有林L=10 km)



「秀逸な道」の看板を設置
【国道230号「森を抜ける公園のような道」】



支笏洞爺ニセコルートウエルカム北海道エリア
(国道453号千歳市幌美内国有林L=9 km)



「秀逸な道」の看板を設置
【国道453号「支笏湖ブルーに出逢う道」】



支笏洞爺ニセコルートウエルカム北海道エリア

「453(ヨゴサン)530(ゴミゼロ)」
キャンペーンin 支笏湖



千歳ウエルカム花ロード



札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

南区 冬の雪あかり



空知シーニックバイウェイ体感未来道-

空知シーニックバイウェイキャラバン
～南空知vol.1～<景観・資源調査>



【今年度の実施（完了）状況】

- 支笏洞爺ニセコルート、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートの「秀逸な道」を明示する看板を設置。
- 引き続き、活動団体等との連携のもと、地域と協働による取組を推進。
- 空知シーニックバイウェイは、令和6年度のルート指定に向けて、ルート運営活動計画の策定を支援。

施策3. 世界水準の観光地の形成

（２）世界に通用する魅力ある観光地域づくり

○サイクルツーリズムの推進

サイクルツーリズムを推進するため、石狩・空知・上川地域の全長約333kmに及ぶ「石狩川流域圏ルート」、石狩・留萌地域の全長約290kmに及ぶ「石狩北部・増毛サイクルルート」において、案内看板や路面表示の設置等により、安全で快適な自転車走行環境を創出。また、道の駅へのサイクルラック設置等の受入れ環境の整備・改善に取り組んでいます。引き続き、自転車利用環境の充実を図るとともに、多様な関係機関との連携のもと、世界水準のサイクリング環境の構築に向けた取組を推進します。



[今年度の実施（完了）状況]

- 「石狩川流域圏ルート協議会」ではサイクル担当者等でルートの走行環境検証、サイクルツーリズムのPRを目的に、走行会を令和5年10月に開催。
- 「石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会」では基幹ルートの区間設定(ステージ分け)を目的とした検討会を令和5年12月に開催。
- 「石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会」、「石狩川流域圏ルート協議会」と連携し、受入環境の充実、走行環境の改善、情報提供等の取り組みを推進。

施策3. 世界水準の観光地の形成

(2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

○河川空間を活用したツーリズムの推進（「かわたびほっかいどう」プロジェクト）



世界水準の観光地の形成を目指し、四季折々の川の自然環境や景観、水辺活動やサイクリング環境等、河川空間が有するポテンシャルを活用したツーリズムを推進します。

具体的には、川に関する情報の効果的な発信、住民や観光客の水辺利用や周遊のサポート、各地域・分野の関係者間のネットワーク強化による水辺利活用に係るニーズの発掘・マッチングの促進、地域と連携した魅力的な水辺空間の創出等により、地域づくり・観光振興に貢献する取組を推進します。



10周年となる今年は「CHITOSE みらい EXPO」と題し開催。千歳川に面したテラスの設置や川遊び、カヌーに乗った川下り体験などを通して多くの人に楽しんでもらいました。地元高校生による“テラスde茶道”も行われました。

【CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2023の様子(千歳市)】
【今年度の実施（完了）状況】



地域の団体により、江別河川防災ステーション地先の河川敷を活用したイベント「シン・エベツ」が開催され、多くの人で賑わいました。

【シン・エベツの様子(江別市)】



【ダム見学ツアー】

- 地元の団体等が主催する水辺イベントにおいてブースを出展し、「かわたびほっかいどう」、「シーニックバイウェイ」や「わが村は美しくー北海道」運動」の取組をPR。
- バスツアー会社と連携したダム見学ツアーや意見交換会を実施。
- 石狩川流域の河川区間に関する見どころやイベント情報について、「かわたびほっかいどう」公式HP等で情報発信。
- 恵庭市花の拠点かわゾーン地区を「都市・地域再生等利用区域」に指定し、新たな水辺のイベント空間を創出。
- 空知川幾寅地区において、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す「南富良野町かわまちづくり計画」が登録。

施策3. 世界水準の観光地の形成

(2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

○滝野すずらん丘陵公園のインバウンド観光の推進

「自然と人・人と人のふれあい」を基本テーマとし、多様なニーズに対応して四季を通じた利用促進を図るため、花フェスタ(チューリップ・すずらん等)、滝野スノーフェスティバル、森の中で音楽やソリ遊びを楽しむ森フェス等様々な野外レクリエーション活動を展開するとともに、快適・円滑に公園を楽しむための環境整備を推進しています。

花フェスタ(花修景施設 カントリーガーデン)



インバウンド観光客の花修景鑑賞(チューリップ・すずらんフェスタ)
※写真は過年度のもの

滝野スノーフェスティバル(別名:滝野スノーワールド)



イングリッシュガイドツアー(スノーシュー冬季園内散策)
※写真は過年度のもの



4カ国語によるHPおよびガイドブックの作成



R5広告ポスター(札幌市営地下鉄構内に掲示)

[今年度の実施(完了)状況]

- 「4カ国語(英語、中国語、タイ語、韓国語)のHPを作成するとともに、4カ国語版ガイドブックを作成、配布」、「翻訳機等による公園案内」等の取組を継続実施。
- 在日外国人の方に公園内の案内標識を確認頂き、標記(ピクトグラムや多言語表記)を検討。次年度以降の変更予定。
- 令和5年度冬季となるホワイトシーズン(12月～翌3月)は、令和5年12月23日から滝野スノーワールドとしてOPEN。
- 札幌市と連携を図り、市営地下鉄駅構内の広告掲示による観光旅行者の来園に向けた働きかけを実施。

施策3. 世界水準の観光地の形成

(2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

○公共空間の利活用による地域の活性化支援

『北海道“みりよく”発信プロジェクト』と題して、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)【北1条エリア】において、道内各地の地域情報やシーニックバイウェイの取組を紹介するポスターの展示やパンフレットなどを配布し、交流の促進を図っています。

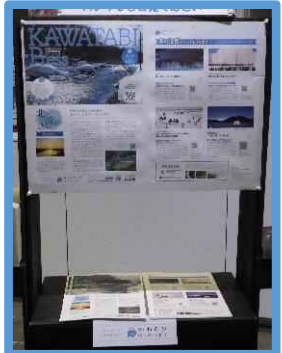


道内各地における魅力的な**アクティビティ・自然・異文化体験**を重点に情報発信

ウポポイの魅力を
情報発信



シーニックバイウェイや
秀逸な道の取組紹介



かわたびほっかいどう
の魅力を情報発信

「北海道“みりよく”発信プロジェクト」を年4回開催。秋の“みりよく”発信では、アジア初となるアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本が開催されることに併せて、道内各地における魅力的な**アクティビティ・自然・異文化体験**について重点的に情報発信を行った。

【今年度の実施（完了）状況】

- 「北海道“みりよく”発信プロジェクト」を計4回開催し、地域振興に資する道内各地の「食」や「観光」(イベント)に関する情報や「ウポポイ」、「シーニックバイウェイ」、「かわたびほっかいどう」の情報などを発信。
計4回の開催時における、延べパンフ配布枚数は、約5万3千枚。
- 令和6年3月18日(月)から「春のみりよく」を開催予定。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○大規模水害・土砂災害に備えた治水対策の推進

「流域治水」の考え方にに基づき、石狩川、千歳川等の洪水氾濫を未然に防ぐための河川改修、北村遊水地の整備や、豊平川の土砂災害等を軽減する砂防施設の整備を推進。また、幾春別川総合開発事業のうち新桂沢ダムについては、試験湛水を実施。雨竜川ダム再生事業は建設段階へ移行し、早期完成に向けて事業を推進します。



【北村遊水地の整備】



【幾春別川総合開発事業(新桂沢ダム)】



【雨竜川ダム再生事業(雨竜第2ダム)】

〔今年度の実施(完了)状況〕

- 石狩川および千歳川ほか支川の河川改修を促進。
- 千歳川流域においては、令和5年8月「特定都市河川」へ指定し、流域のあらゆる関係者と連携して流域治水の実効性を推進。
- 北村遊水地において、周囲堤・囲ぎよう堤などの遊水地整備を推進。
- 土砂災害等の軽減を図るため、南の沢川・オカバルシ川・簾舞川において、引き続き、砂防施設の整備を推進。
- 雨竜川ダム再生事業(雨竜第1ダム及び第2ダム)の建設段階へ移行。
- 新桂沢ダムの試験湛水の実施及び三笠ぽんべつダムの建設事業を推進。
- 空知川幾寅地区において、平常時の利活用と災害時の水防活動の拠点となるMIZBEステーションについて北海道初の登録。

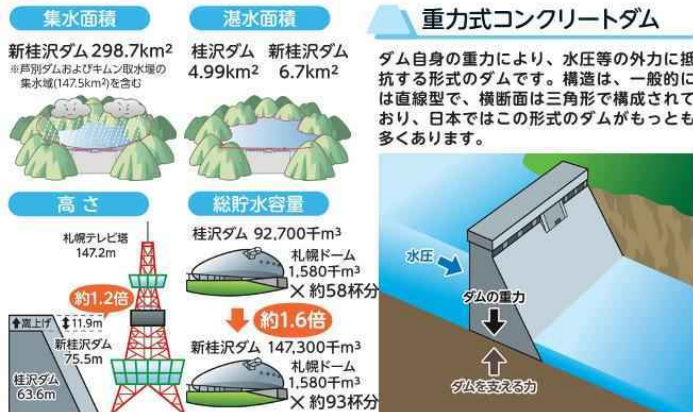
新桂沢ダム竣工(幾春別川総合開発事業)

令和6年6月9日、札幌開発建設部では、新桂沢ダムの完成を迎え、これまで事業にご協力いただいた関係者の皆様に感謝するとともに、地域の発展を祈念して「竣工式」を開催しました。

- 日 時：令和6年6月9日（日）11:00～12:00
- 場 所：三笠市民会館（北海道三笠市幸町13）
- 出席者：約200名

新桂沢ダム概要

新桂沢ダムは昭和32年に完成した桂沢ダムを嵩上げて建設します。桂沢ダムでは、現在求められている治水・利水の機能を満足できないため、同軸嵩上げにより貯水容量の増大を図ります。



新桂沢ダムの説明を受ける斉藤大臣



直轄初の同軸かさ上げをした新桂沢ダム



くす玉開披

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

○災害時の救援や緊急物資輸送を支える道路交通ネットワークの整備

災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築・機能強化として、道路交通の多重性や代替性の確保を図るため、高規格道路や並行する一般国道等の整備、橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策、法面・盛土の土砂災害防止対策を推進します。

橋の流出防止対策として、橋台周りを保護する護岸を整備し、災害に強い道路交通ネットワークの構築・機能強化を図ります。



【道路構造物の流失防止対策(橋台の護岸整備)】

土砂災害の危険性がある箇所に対する、法面对策の実施により災害に強い道路交通ネットワークの構築・機能強化を図っています。



【土砂災害防止対策(国道231号 斜面对策の整備)】

[今年度の実施(完了)状況]

- 国道231号石狩市において災害防除工事(斜面对策など)を実施。
- また、橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策の検討に着手するなど、道路の防災・減災対策を推進。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細やかな地域支援

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、一般国道等の現道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。



本会議では、北海道開発局、北海道、市町村、警察、消防や道路に係わる関係機関が一堂に会し、道路防災の推進を図っています。

【石狩・空知地方道路防災連絡協議会(WEB併用開催)】



除雪グレーダ、除雪ドーザにより、道路の雪を寄せたり、雪や氷を削って平らにし、一般国道等の冬期交通の安全を確保しています。

【除雪作業】

【今年度の実施（完了）状況】

- 道路災害の防止及び災害発生時の被害拡大防止に向けて関係機関相互の連携強化を図るため、石狩・空知地方道路防災連絡協議会を開催(令和5年7月25日)。
- 冬期に向け、冬期道路維持管理情報共有化会議を開催し関係機関との除排雪の連携や雪堆積場の共有等について取り組んだ。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○災害発生時におけるきめ細やかな地域支援

大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のため、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)及びMAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)を派遣し、被災した地方自治体への技術支援を迅速に実施しています。



令和6年能登半島地震による被害の復旧支援のためTEC-FORCEを北陸地方整備局管内、MAFF-SATを北陸農政局管内に派遣しました。

【令和6年能登半島地震に伴うTEC-FORCE派遣 被災状況調査班(砂防)】



令和5年3月に発生した家きんの高病原性鳥インフルエンザによる北海道からの支援要請に対し照明車を派遣し、夜間の防疫作業を支援しました。

【令和5年3月家きんの高病原性鳥インフルエンザ発生による北海道からの支援要請に対応(千歳市)】

[今年度の実施(完了)状況]

- 令和5年3月、千歳市において家きんの高病原性鳥インフルエンザが発生。北海道からの支援要請に対し、照明車を派遣し、連日に亘る夜間の防疫作業を支援した。
- 令和6年1月、能登半島地震が発生。被害の復旧支援のためTEC-FORCE及びMAFF-SATを派遣。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○地域防災力の向上に向けた取組の推進

大規模災害を想定した各種訓練等により職員の危機管理能力の向上を図るとともに、防災関係機関で構成する協議会等に参画し、密接な連携、情報伝達体制を確立します。



【自治体職員参加の災害対策用機械操作訓練】

※ ロボQsは、汎用されているバックホウを遠隔操作することができる災害対策用機械で、危険な災害現場での復旧工事で使用されている。



【NPO法人ポロクルとの災害協定連携訓練】

※ ポロクルを活用した非常参集訓練、リエゾン派遣訓練、TEC-FORCE被災状況調査訓練を実施した。

[今年度の実施(完了)状況]

- 札幌開発建設部と関係機関で締結している災害協定に基づく連携訓練を実施した。
- 防災関係機関で構成する協議会等に参画し、開発局が行う地域支援の概要説明を行い、理解促進に努めた。
- 北海道開発局が保有する災害対策用機械の操作訓練を自治体職員にも公開し、連携体制の確立に努めた。
- 大規模災害時の初動対応訓練として非常参集訓練、大雨災害RP訓練、大規模地震DIG訓練を実施した。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者と連携し無電柱化を推進します。



【整備前】(国道12号江別市野幌町)



【整備後】(国道12号江別市野幌町)

【今年度の実施（完了）状況】

- 国道12号札幌市白石中央、江別市野幌町、砂川市砂川、国道233号深川市深川において、電線共同溝工事を実施。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○交通安全対策の推進

事故データやビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」※を推進するとともに、高規格道路の暫定2車線区間については、正面衝突事故対策としてワイヤロープの設置を計画的に推進します。また、通学路や未就学児の移動経路において、子どもの安全な通行を確保するための取組を関係機関と連携し推進します。

※事故ゼロプラン: 交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組



【事故対策前】国道12号 町道16号線交差点改良
交差点改良事業(奈井江町)



【事故対策後】国道12号 町道16号線交差点改良事業(奈井江町)
(滑り止め舗装、減速路面標示等)

【今年度の実施(完了)状況】

- 国道234号町道古川東西線交差点、国道337号樽川中央通交差点等、管内16箇所において、交通安全対策を実施。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○交通安全対策の推進（事業箇所）

国道名	事務所名	事業名
5号	札幌道路事務所	新川IC交差点改良
12号	滝川道路事務所	江部乙付加車線整備
	岩見沢道路事務所	町道16号線交差点改良
230号	札幌道路事務所	石山交差点改良
275号	札幌道路事務所	道道岩見沢石狩線交差点改良
	札幌道路事務所	月形交差点改良
337号	千歳道路事務所	南幌路肩改良
	札幌道路事務所	樽川中央通交差点改良
451号	滝川道路事務所	市道啓南通交差点改良

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策（河川管理施設）

安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・点検を行うとともに、インフラ長寿命化計画に基づき、既存施設が機能発揮するよう、必要な河川管理施設の補修・設備の更新を行うなど、地域との連携及びコスト縮減に努めつつ、的確な河川の維持管理を推進します。



【堤防の維持管理のための除草・集草と配布(札幌市)】



※樋門とは？
普段は堤内の雨水等を河川に流し、大雨による洪水時には門を閉じて逆流を防ぐ施設です。



※排水機場とは？
洪水で樋門が閉じられた際、堤内の水をポンプにより河川へ排水する施設です。

【河川管理施設(樋門・排水機場)の維持補修】

【今年度の実施（完了）状況】

- 老朽化した河川管理施設の補修と併せて、洪水時に本川からの逆流を防ぐための樋門ゲートの無動力化や排水機場の運転を河川事務所からできるよう遠隔操作化を実施。
- 堤防の維持管理のための除草・伐採について、公募による有効活用によりコスト縮減に取り組んでいる。
- AI技術を活用した点検作業の検討や、災害時の速やかな被災状況の把握のためのドローンの活用など、維持管理を効率化するための試みを実施。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策（道路施設）

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。



【国道36号恵み野こ線橋の橋梁補修(恵庭市)】



【道路メンテナンス講習会(令和5年11月16日開催) WEB併用】

[今年度の実施(完了)状況]

- 2巡目点検結果を踏まえた早期措置が必要な施設への計画的な対策を実施。
- 今年度も「北海道道路メンテナンス札幌地方会議」を開催(令和5年8月30日)するとともに、講習会を開催(令和5年11月16日)する等、地方公共団体における老朽化対策への技術支援を実施。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策（農業水利施設）

農業水利施設を対象に老朽化状況を調べる機能診断等を行い、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図り、農業の生産力の維持・確保と地域の防災・減災力の向上を推進します。



【ドローンを活用した北海幹線用水路(岩見沢市)の機能診断】



【豊幌排水機場(岩見沢市)のポンプ設備内の潤滑診断調査】

[今年度の実施（完了）状況]

- 農業水利施設の機能診断調査等を実施。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

（1）激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○社会経済活動を支えるインフラ施設の耐震強化（新千歳空港施設）

大規模地震災害時に緊急物資輸送拠点としての機能を確保し、航空ネットワークの維持等を図るため、河川函渠等の耐震補強や滑走路の液状化対策を推進します。

液状化層の地盤改良等により、滑走路表面の凹凸を防止



【新千歳空港施設 美沢川函渠の耐震対策】



【美沢川函渠耐震補強 施工状況】

【今年度の実施（完了）状況】

- 空港の下を横断している美沢川函渠の耐震補強など、今年度予定していた工事は完了。
- 早期整備に向け事業進捗を図った。

施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

(2) 恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成

○河川環境の保全・再生や魅力ある地域づくり

健全な生態系ネットワークの形成に取り組み、生物生息環境を保全・再生するとともに、野生生物と地域生活・産業の両立を図り、豊かな自然資本の持続的な活用による地域振興・経済活性化を実現するため「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。舞鶴遊水地においても、引き続きタンチョウの生息環境維持・構築や地域活性化に向けた取組を実施します。



本協議会では、学識者、北海道開発局、環境省、北海道、市町村、企業、団体等が一堂に会し、健全な生態系ネットワークの形成に取り組みます。

当部が整備した舞鶴遊水地に、タンチョウがやって来ました。平成28年9月に長沼町と当部が連携し、生態系ネットワーク形成に向けた取組の一環として「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」を設立し地域の活性化に取り組んでいます。舞鶴遊水地では令和2年に初めてタンチョウのヒナが誕生しました。さらに令和3年、4年、5年と4年連続でヒナの誕生が確認されています。



【第1回 石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会】

【地域づくり専門部会の実施状況】

【R5.11舞鶴遊水地(長沼町)で確認された親鳥とヒナ】
(提供:環境省・一般社団法人タンチョウ研究所)

[今年度の実施(完了)状況]

- 石狩川流域の生態系ネットワーク形成を目的に、全体構想の策定、流域の取組に関する共有・拡大、情報発信等に関する包括的な役割を担う「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」を設立(令和6年2月7日)。
- 第9回タンチョウも住めるまちづくり検討協議会を開催(令和6年2月7日)するとともに、地域づくり専門部会を開催(令和6年1月15日)し地域の魅力を発信する取組を推進。
- 令和2年度より4年連続で舞鶴遊水地においてタンチョウが繁殖に成功し、ヒナが誕生したことから、遊水地の一部を立ち入り制限するなど、タンチョウの生息環境維持・構築に向けた取組を実施。